

平成24年度 事務事業評価シート（平成23年度実績分）

事務事業名	地場産品販路拡大推進事業費		部課コード*	1506	予算事業科目	010701020135	事	単	区分	継続
所管部署	担当部局	商工観光部	部局長名(2次評価者)	古味 勉	個別事務	全部	010701020135	-		
	担当部署	産業政策課	所属長名(1次評価者)	大石 和成						
	電話番号	088-823-9456	E-mail	kc-150600@city.kochi.lg.jp						

1 事業の位置付け

予算科目(平成24年度)	高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け									
会計	01 一般会計	大綱	04 地産の環	政策基本方針	製造業をはじめとする産業界では、急速に加速する経済のグローバル化や新興国の生産技術力向上などにより、従来の低労働コストを背景とした途上国への工場移転に加え、活動拠点の機能分担化を図る新たな投資活動の流れも進んでいます。また、これまで産業界をけん引してきた自動車や電機業界等の設備稼働率が減少する一方で、太陽電池やバイオマス燃料等、新エネルギー分野への投資が拡大するなど、産業構造は急速かつ大きく変化しています。このような状況の中で、柔軟性や創造性にあふれる環境の変化に強い工業の実現をめざして、地場企業の振興を図るとともに、地域資源を活用した新たなビジネスの創出や、新しい価値を生み出す企業の誘致を推進します。					
款	07 商工費	政策	04 独創性あふれるものづくりの振興							
項	01 商工費	施策	01 地場企業の飛躍に向けた支援							
目	02 産業政策費	区分	01 地産外商・販路拡大の推進							

2 事業の根拠・性格

法律・政令・省令		法定受託事務
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等		
その他(計画、覚書等)	ビジネスフェア中四国実行委員会規約	

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	高知市内に事業所を有する中小企業者等		
意図	どのような状態にしていくのか	市内中小企業者等の商品の販路拡大		
手段	事業実施体制等	実行委員会への参画、負担金支出	事業開始年度	平成20年度
			事業終了年度	
活動内容	どのような事業活動を行うのか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出展参加への呼び掛け ・ 実行委員会負担金支出による出展企業の経費負担軽減 ・ フェア前後における商談フォロー（周知活動、バイヤー招へい、フェア後アンケート等） 		
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方	
	A	出展企業数	できるだけ多くの中小企業者等に出展を促す	
	B			
	C			

4 事業の実績等

			21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	出展企業数	7	7	10	7	単位は社	
		実績	7	9	5			
	B	目標						
		実績						
	C	目標						
		実績						
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)	841	843	913	999	平成24年度は当初予算額	
		財源内訳	国費 (千円)					
			県費 (千円)					
			市債 (千円)					
			その他 (千円)					
			一般財源 (千円)	841	843	913		999
	翌年度への繰越額 (千円)							
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	4,440	4,320	4,320	4,440		
		正規職員 (千円)	4,440	4,320	4,320	4,440		
		その他 (千円)						
		人役数 (人)	0.60	0.60	0.60	0.60		
		正規職員 (人)	0.60	0.60	0.60	0.60		
		その他 (人)						
総コスト=①+② (千円)		5,281	5,163	5,233	5,439			
市民1人当たりコスト (円)	16	15	15		総コスト/年度末人口			
年度末住民基本台帳人数 (人)	339,714	339,130	337,875					

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

- ・他展示会と比較して、経費的に安価で出展できることから、事業は好評を得ており、継続の必要がある。
- ・成果指標としては、出展後の商談件数や商談成約額も想定されるが、日常の企業活動の中で、中小企業者等が、単一の展示会からの効果を明確に把握することが困難な面もあり、費用対効果が表しにくい課題がある。

6 1次評価（所属長評価）

評価日（平成 24 年 8 月 27 日）

評価項目		評価基準	1次	平均 点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① 〔施策体系等での位置付け〕 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく B (3) 一部結びつく C (1) あまり結びつかない D (0) 結びつかない	A	4.0	重点施策である地産外商推進事業において、販路拡大を目的とする商談機会の創出は重要である。出展者が急増する状況ではないが、出展した企業からの事業に対する評価は高い。
	② 〔市民ニーズの傾向〕 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している B (3) 横ばいである C (1) 少ない、減少している D (0) ほとんどない	B		
事業内容の有効性	③ 〔成果の達成状況〕 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している B (3) 概ね達成している C (1) あまり順調ではない D (0) 十分な成果を望めない	B	3.0	他展示会との日程重複等、特殊要因を除き、出展企業数が増加傾向にあることから、概ね達成されている。
	④ 〔事業の手法・活動内容〕 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である B (3) 概ね妥当である C (1) 検討の余地がある D (0) 見直しが必要である	B		
事業実施の効率性	⑤ 〔アウトソーシングの可能性〕 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない B (3) 行政主体が望ましい C (1) 検討の余地はある D (0) 十分可能である	B	3.0	民間主導の展示会になれば、出展者の経費負担が増えることから、現状が望ましい。コスト削減は、実行委員会内でも論議しており、一定の削減には至っている。
	⑥ 〔事業統合・連携・コスト削減〕 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない B (3) 概ね効率的にできている C (1) 検討の余地がある D (0) 十分可能である	B		
事業実施の公平性	⑦ 〔受益者の偏り〕 事業の受益者が特定の個人（団体）等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い B (3) 概ね保たれている C (1) 偏っている D (0) 公平性を欠いている	B	4.0	事業のPRは、より一層の周知のために努めていく。また、他展示会と比較して安価ながらも、出展者自身の経費負担もあり、負担割合は適正と考える。
	⑧ 〔受益者負担の適正化〕 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である B (3) 概ね適正な負担割合である C (1) 検討の余地がある D (0) 検討すべきである	A		
総合点	14.0	総合評価	A 事業継続（総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合） ○ B 経費削減に努め事業継続（総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合） C 事業縮小・再構築の検討（総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合） D 事業廃止・凍結の検討（総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合）		

7 2次評価（部局長評価）

評価日（平成 24 年 9 月 14 日）

総合評価	評価理由・今後の方向性等
○ B 経費削減に努め事業継続	広島市で開催される展示会として、中四国地域の出展者に対し、中四国地域を中心としたバイヤー等事業者とのマッチングの機会を提供している。首都圏エリアへの販路拡大に加えて、足がかりとしても中四国エリアへの販路拡大の取組も必要であり、今後も関係自治体・商工会議所とも連携の下、継続していく。
A 事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項